

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

富山県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	高齢福祉課			2 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	高齢福祉課			2 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	・介護予防主担当課以外の課、保健所	・研修会には、全ての保健所へ周知し参加してもらう。 ・連絡会では、モデル市町所管保健所職員にも参加してもらうとともに、モデル市町への支援を協働で実施。	・保健所はこれまで地域づくりとしての「介護予防事業」に関与してこなかった。	・地域包括ケア体制構築の市町村支援の取組の一事業として、保健所に事業を位置づける。
職種 連携	・保健師、リハ職	・研修会には、市町村の高齢福祉担当課に加え、健康増進担当課へも参加を呼びかける。	・同職種であっても、高齢福祉担当課と健康増進担当課が別々に地区活動を行っており、モデル事業の実施にあたり連携するよう呼びかけている。	・引き続き、高齢福祉担当、健康増進担当へ情報提供を行う。
その他	・職能団体	・リハ職と協働した具体的取組み方法について、県職能団体（県PT協会、OT協会）事務局担当者と検討。	・リハ職を活用した具体的取組み方法と広域派遣体制について	・モデル事業においてリハ職とともに事業の実施、評価を行う。

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①介護予防の普及啓発と介護予防活動の推進（若い世代を含めた幅広い層に対する介護予防の意義と知識の普及など） ②リハビリテーションによる介護予防の強化（地域ケア会議やサービス担当者会議等へのリハ職の関与促進など） ③効果的な介護予防の取組みと評価（効果的な介護予防の推進と取組み評価への支援など） ④生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進（市町村が行う生活支援・介護予防サービス基盤整備への支援など） |
|--|

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会の開催（3回） 実施市町村への情報提供、アドバイザーによる助言指導、実施上の課題等に対する意見交換の場として連絡会を開催。所管する保健所担当職員も参加。日頃の悩みや課題に対応するなど、協働して実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村主体による地域づくり活動であることを十分理解いただくことが必要。 住民の「やりたい」を引き出す動機付けの説明や工夫など、しかけづくりが重要であることを理解いただくことが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業説明会及び連絡会 モデル事業参加市町村、保健所職員を対象に、説明会を実施。 定期的に連絡会を開催し、進捗状況管理や課題への助言、意見交換を行うとともに、所管保健所が協働して支援を行う。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 市町村が包括支援センターに委託する場合は、主旨や手順を十分に説明することが必要。 健康増進部門と高齢福祉部門との連携による地域診断が必要。
研修会、現地支援	<ul style="list-style-type: none"> 研修会 全市町村及び保健所職員対象。これからの介護予防事業の考え方について理解を深め、実践報告を踏まえ、市町村同士の意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 現地支援については、モデル市町村での通いの場が年度末にスタートしたこと、モデル市町村から希望がなかったため実施せず。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会 全市町村対象、26年度モデル事業報告（経過、評価、課題など） 現地支援 年間スケジュールを早めに計画し、どのタイミングで依頼するのか、早めに検討。 	◎	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 先進地視察等で得た情報を県内市町村へ情報提供。 モデル事業を所管する保健所職員による相談・支援。 		<ul style="list-style-type: none"> 関連情報の配信 保健所長に密着アドバイザーを依頼 	○	住民へのプレゼン資料の共有

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
H26.8.27	新しい地域支援事業における一般介護予防事業担当者研修会	市町村担当者（高齢福祉担当、健康増進担当、地域包括）、保健所担当者	15

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
	<ul style="list-style-type: none"> 研修会を機にモデル事業に関心を持った市町村に資料やDVDを配布した。 他課が行う地域リハビリテーション事業研修会（基調講演；高知市保健所の介護予防事業の取組み）について全市町村に周知した。 		<ul style="list-style-type: none"> 関連情報の配信 県研修会の開催 保健所による市町村支援 リハ専門職活用のためのハンドブックの作成 		

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

- 介護予防事業の展開は、まさに地域づくり活動であると感じた。
- 地域住民の動機付けや継続支援など行政側の仕掛けづくりが重要であり、住民の持つ力を引き出しながら生活実態に応じた取組みがポイントとなる。教室を開催する行政側の意識を変えていかなければならない。
- 通いの場づくり（地域づくり）は介護予防事業だけではなく、今後の地域包括ケアシステムを構築する上で重要な取組みであり、今後も推進していきたい。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

石川県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	健康福祉部長寿社会課		2	1 ◎			3	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	健康福祉部長寿社会課		1	1 ◎		2	←主担当に◎を選択してください。	
						0		
						0		
						0		

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	・介護予防主担当課以外の課、保健所 ・その他	保健福祉センター職員に担当市町支援を依頼		引き続き連携しながら対応する予定
職種 連携	・事務職、保健師、リハ職 ・その他			
その他	・地域リハビリテーション広域支援センター ・職能団体 ・その他	県リハビリテーションセンター、理学療法士、作業療法士の職能団体へ立ち上げ支援研修会への参加依頼。重錘バンドの貸し出し依頼		研修会等への参加を依頼予定

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

策定中

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	担当者会議で、地域診断について、地域密着アドバイザーより助言あり。地域診断は、市町村にとって負担になるという心配もあったが、診断手法を説明し重要性を伝えた。		他市町での立ち上げ支援と平行して本年度のモデル市町村へのフォローアップを実施予定	○	取り組み市町が増加する中での市町と保健福祉センターとの連携
研修会、現地支援	モデル事業説明会 戦略策定研修会 立ち上げ研修会 事業評価担当者会議		同上		
その他					

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
平成26年5月21日	平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業担当者会議	モデル市町、保健福祉センター、地域密着アドバイザー	4
平成26年7月22日	平成26年度第2回地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業担当者会議	モデル市町、他市町、保健福祉センター、地域密着アドバイザー	13
平成26年11月12日	平成26年度第2回介護予防事業担当者会議兼第3回地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業担当者会議	モデル市町、他市町、保健福祉センター、県リハビリテーションセンター、県理学療法会、県作業療法士会、地域密着アドバイザー	5
平成27年2月12日	平成26年度第3回介護予防事業担当者会議兼第4回地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業担当者会議	モデル市町、他市町、保健福祉センター、県リハビリテーションセンター、地域密着アドバイザー	14

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
	1 担当者会議の開催（全市町対象一部あり） 2 研修会の開催	1 県下全市町介護予防事業担当者への住民主体型介護予防事業の啓発 2 理学療法士、作業療法士会他専門職との連携	1 住民主体型介護予防事業に関する研修会（県全体） 2 理学療法士、作業療法士等も含めた担当者会議 3 社会資源（保健師OB等）に対しての介護予防事業への支援協力の働きかけ	◎	3 社会資源の発掘

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

- ・事業実施開始前は、通いの場が立ち上がるのか半信半疑であったが、モデル市町と事業を進めていく中で、地域の中で受け入れられることを実感した。
- ・広域アドバイザーから提供されたDVDで実施された方の身体機能の改善の様子は、事業担当者、住民も驚きのあるものであった。
- ・広域アドバイザーから、2回の熱心な支援があり、担当者もその熱意をくみ取り、住民に住民主体の介護予防事業の大切さを啓発していた。
- ・県内の4市町全て立ち上がったが、課題もあり今後も継続的な市町村への支援が必要と思われる。
- ・多くの担当者が「週1回の実施は住民にとって過大な負担で、通いの場の立ち上げは困難」と考えていたが、モデル事業を通じて住民の積極性に驚かされ、住民の力を信じることの大切さを実感できたようである。
- ・市町担当者にとっては、住民と介護予防の重要性についてきちんと向き合えたことが大きな成果と考える。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

福井県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	長寿福祉課		2 ◎				2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	長寿福祉課		2 ◎				2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防主担当課以外の課、保健所 その他 	モデル地区を管轄する健康福祉センター職員による現地指導	-	-
職種 連携	<ul style="list-style-type: none"> 事務職、保健師、リハ職 その他 	-	-	-
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域リハビリテーション広域支援センター 職能団体 その他 	-	-	-

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

- 行政主導の「対処中心」の介護サービスの提供だけでなく、地域住民も参加した「予防重視」の取組みに転換
- 住民主体の生活支援サービス、多様な主体の生活支援サービスへの参入促進

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	・現在ある資源の活用、成功事例を作ることを重視したモデル地区選定の考え方を整理	—	—		
研修会、現地支援	・地域づくりにおける介護予防推進支援モデル事業担当者・市町介護予防担当者合同会議の開催（7/14） ・現地の確認（8/19、10/7） ・体験会の開催（11/7）	・関係者への働きかけ、住民（高齢者）に対するアドバイスの在り方・方法	・他のモデル地区での取組み等の情報提要		
その他	—	—	—		

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
7月14日	地域づくりにおける介護予防推進支援モデル事業担当者・市町介護予防担当者合同会議	モデル町およびモデル町以外市町	16

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
情報の提供	各市町に「いきいき百歳体操 サポーターの手引き」、「いきいき百歳体操 DV D」を提供	—	全国のモデル市町村の取組み・成果、先進的な取組み事例の情報を提供		

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

- ・モデル地区の他に既に4地区で取り組まれているほか、3月からは新たに3地区で取り組むことになるなど、取組みが着実に広がっている。
- ・関係者への働きかけ、住民（高齢者）に対するアプローチが重要であるため、支援していくためにはそのノウハウ（経験）が必要と感じた。